



## Press Release

2023年4月18日

日本イーライリリー株式会社  
田辺三菱製薬株式会社

# 世界初の持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬 「マンジャロ®皮下注 2.5 mg/5 mg アテオス®」を新発売

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー)と田辺三菱製薬株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:辻村 明広、以下、田辺三菱製薬)は、持続性GIP/GLP-1受容体作動薬「マンジャロ®皮下注2.5 mgアテオス®」、「同皮下注5 mgアテオス®」(一般名:チルゼパチド、以下、マンジャロ)について、本日2023年4月18日、新発売しましたことをご知らせいたします。

マンジャロは、グルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド(GIP)とグルカゴン様ペプチド-1(GLP-1)の二つの受容体に作用する世界初の持続性GIP/GLP-1受容体作動薬です。本剤の構造は、天然GIPペプチド配列をベースとした単一分子ですが、GLP-1受容体にも結合するように改変されており、選択的に長時間作用し血糖値を改善します。

本剤は、1回使い切りのオートインジェクター型注入器(アテオス)によって、週1回皮下注射します。あらかじめ注射針が取り付けられた専用ペン型注入器により、注入ボタンを押すことで自動的に注射針が皮下にささり、1回量が充填されている薬液が注入されます。患者さんが用量を設定したり、注射針を扱ったりする必要はありません。

また、本剤は通常、成人には、チルゼパチドとして週1回2.5 mgの開始用量から開始し、4週間投与した後、週1回5 mgの維持用量に増量します。患者さんの状態に応じて適宜増減が可能な薬剤であり、5 mgで効果不十分な場合は、4週間以上の間隔を空けて2.5 mgずつ増量ができ、最大で週1回15 mgまで使用が可能です。6つの用量規格のうち、開始用量(2.5 mg)と維持用量(5 mg)の2規格を先行して本日発売しました。高用量の4規格(7.5 mg、10 mg、12.5 mg、15 mg)については2023年6月12日に発売を予定しています。

なお、本剤は、イーライリリー・アンド・カンパニーが米国において2022年5月13日、世界初の持続性GIP/GLP-1受容体作動薬として承認を取得し、同年6月7日より「Mounjaro」の製品名で販売を開始しています。日本では、2022年9月26日に承認を取得しました。マンジャロの製造販売承認は日本イーライリリーが有し、販売・流通は田辺三菱製薬が行います。医療従事者への情報提供活動は日本イーライリリーと田辺三菱製薬が共同で行います。

日本イーライリリーの糖尿病・成長ホルモン事業本部長メアリー・トーマスは次のように述べています。「この度のマンジャロの発売を大変嬉しく思います。2型糖尿病とともに歩む多くの方々へ、新しいクラスの治療選択肢としてマンジャロをお届けできるように適正な情報提供に努めてまいります。」

田辺三菱製薬の営業本部長吉永克則は次のように述べています。「当社は、『病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。』をMISSIONとして掲げております。本日、新発売を迎えたマンジャロが2型糖尿病とともに歩む人々にとって希望ある選択肢となるよう、情報提供活動を通じてマンジャロの適正使用を推進してまいります。」

以上

## 参考情報

### 製品概要

販売名	マンジャロ®皮下注 2.5 mg アテオス® マンジャロ®皮下注 5 mg アテオス®
一般名	チルゼパチド
効能又は効果	2型糖尿病
用法及び用量	通常、成人には、チルゼパチドとして週1回5mgを維持用量とし、皮下注射する。ただし、週1回2.5mgから開始し、4週間投与した後、週1回5mgに増量する。 なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回5mgで効果不十分な場合は、4週間以上の間隔で2.5mgずつ増量できる。ただし、最大用量は週1回15mgまでとする。
製造販売承認取得日	2022年9月26日
薬価収載日	2023年3月15日
発売日	2023年4月18日
薬価	マンジャロ®皮下注2.5mgアテオス® 0.5mL 1キット: 1,924円 マンジャロ®皮下注5mgアテオス® 0.5mL 1キット: 3,848円
製造販売元	日本イーライリリー株式会社
販売元	田辺三菱製薬株式会社

### 製品画像



マンジャロ®皮下注2.5 mgアテオス®



マンジャロ®皮下注5 mgアテオス®

### 日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<https://www.lilly.co.jp>

## 田辺三菱製薬について

三菱ケミカルグループ(MCG)のファーマ部門である田辺三菱製薬は、1678年に創業、医療用医薬品事業を中心とする製薬企業として、最も歴史ある老舗企業のひとつです。MCGは経営方針「Forging the future 未来を拓く」の中で、ヘルスケアを最重要戦略市場のひとつに位置付けています。当社は、「病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。」をMISSIONとし、これを実現するため、中枢神経、免疫炎症、糖尿病・腎領域に加え、がん領域にも取り組んでいきます。有効性・安全性が高い患者層を見出し、治療満足度の高い薬剤をお届けする「プレシジョンメディシン」の他、予防・未病、重症化予防、予後にも目を向け、治療薬を起点に患者さんの困りごとに応える「アラウンドピルソリューション」を展開していきます。<https://www.mt-pharma.co.jp/>